

高品質『いちほまれ』の収量(0.5俵/10a)アップを目指して!!



いちほまれ速報 No.6

【生育調査状況と今後の管理情報】

J A 福井県 福井基幹支店
福井農林総合事務所
福井地区いちほまれ研究会

● 梅雨明け!! 間断通水の実施は多収のポイントです!!

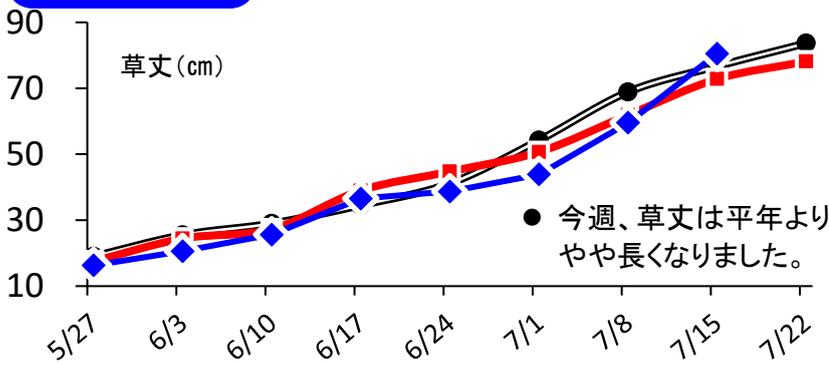
1. J A 生育調査状況 (7月14日現在)

栽培区分	年度	平均作業日	草丈 cm	茎数 m ²	葉令	葉色
移植	R3	-	80.5	454.9	11.3	4.3
	R2	-	72.8	417.5	11.0	4.1

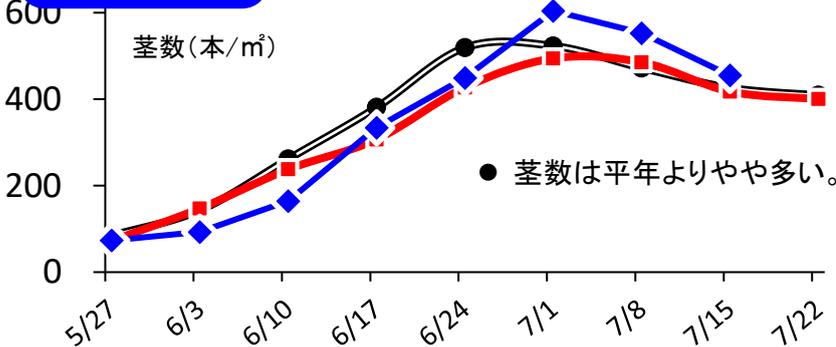
7月上旬は断続的な降雨に見舞われましたが、7月14日付で北陸地方は梅雨明けが宣言され今後は高温が続く見通しです。「いちほまれ」は幼穂形成期を迎え、今後は水が必要な時期になりますので収穫時期までの間断通水の管理徹底をお願いします。

2. 茎数の推移と今後の管理

草丈(移植)



茎数(移植)



今後の管理について

移植

- 上旬移植は幼穂長約10mm
- 中旬移植は幼穂形成期(約2mm) 間断通水の管理へ移行してください。

直播

- 来週ごろ幼穂形成期を迎える見込みです。残りの1週間しっかりと中干しを実施して間断通水の管理へ移行しましょう。

病害虫の発生に注意

圃場の見回り、稲を観察して早期に対応しましょう。

- カメムシ類(畦畔草刈り・防除)
- いもち病・紋枯病(防除)



3. 作業のポイント

収穫直前までの水管理

- 幼穂形成期以降は水が必要なので間断通水(足跡に水が残る程度)の管理を収穫直前まで実施しましょう。
- 湯きすぎないように3~5日に一回入水しましょう。
- フェーン現象(強い南風)の時は、葉から水分が蒸発し稲体が消耗してしまうので深水の管理をしましょう。



田面を乾かさない

適期管理で収量向上を目指しましょう。今週のいちほまれ速報は『文殊支店』が担当しました。